

岡山県 I 氏賞

# 蓮岡さん(倉敷出身)大賞

奨励賞 中桐、文谷さん



文谷有佳里さん 中桐聡美さん 蓮岡匡浩さん

岡山県は15日、県にゆかりのある新進気鋭の美術家をたたえる第16回「I氏賞」の大賞に蓮岡匡浩さん(36)＝京都市在住、倉敷市出身＝を選んだと発表した。奨励賞は中桐聡美さん(28)＝倉敷市＝と文谷有佳里さん(39)＝愛知県瀬戸市在住、岡山市出身＝に決まった。蓮岡さんは表現力と洗練されたデザイン感覚が持ち味。受賞対象となった絵画「旅行記」はそれぞれ赤い大地への旅、雨と貫かれた雲をテーマにした対作品で

「独特の存在感を放ち、部分の描き込みも魅力的」と評された。2010年に岡山県立大を卒業し、22年の第75回記念二紀展入選。

中桐さんは瀬戸内海をモチーフにシルクスクリーンという技法を用いて制作。版画の画面を削って作品の強さと厚みを表現した。文谷さんは大学で作曲を学んだ経歴を生かし、音楽的な発想を背景にした線描が高く評価された。

贈呈式は3月21日に岡山市北区内山下のルネスホールであり、大賞には300万円、奨励賞には各100万円が贈られる。

I氏賞は京セラ元会長の伊藤謙介氏(高梁市出身)の寄付を基に、県が07年度創設。今回は県内外の美術関係者らから40歳以下の36人が推薦され、書類選考を通過した11人の中から選考委員会(委員長・高階秀爾大原美術館代表理事、5人)で決定した。

(川中満仁)

山陽新聞社提供

掲載の記事・写真及び、図版の無断転記を禁じます。